

日本ロールシャッハ学会第15回大会のお知らせ（第1号通信）

2011（平成23）年度の日本ロールシャッハ学会第15回大会は、2011年7月16日（土）～7月20日（水）に、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催される国際ロールシャッハ及び投映法学会（ISR）第20回日本大会において同時開催されることとなりました。本学会の年次総会は、期間中7月19日（火）に、同センターの小ホールで開催される予定です。

今回、ISR日本大会は、初めてのアジアでの開催となります。世界から集まる心理臨床家と今後の心理アセスメントや教育・訓練のあり方等について議論を深める貴重な機会と言えます。ぜひ多くの会員の皆様に参加していただきたく、ご案内申し上げます。

以下に2011年度日本大会の概要をご案内いたします。参加・発表の申込方法その他、例年とは異なる形式となり、すでに本年8月1日から、日本大会ホームページ上で始まっております（<http://www2.convention.co.jp/isr2011/>）。このご案内の末尾にも、問い合わせ先を記載しましたので、ご確認ください。

2010年10月吉日
日本ロールシャッハ学会 第15回大会
準備委員会委員長 小川 俊樹

- 1 学術大会名：** 国際ロールシャッハ及び投映法学会第20回日本大会
同時開催； 日本ロールシャッハ学会第15回大会
包括システムによる日本ロールシャッハ学会第17回大会

2 主催団体等：

主催団体；包括システムによる日本ロールシャッハ学会

共催団体；日本ロールシャッハ学会

協賛団体；投映法フォーラム

協力団体；MMP I 新日本版研究会，名古屋ロールシャッハ研究会，関西ロールシャッハ研究会

後援団体；文部科学省，東京都，日本学術会議，（社）日本心理学会，（社）日本心理臨床学会，（社）日本臨床心理士会，（社）日本精神神経学会，（財）日本臨床心理士資格認定協会，日本精神分析学会，日本犯罪心理学会，日本芸術療法学会，日本描画テスト・描画療法学会，日本箱庭療法学会，日本遊戯療法学会，日本コラージュ療法学会，日本児童青年精神医学会，日本家族研究・家族療法学会，日本思春期青年期精神医学会，日本精神病理・精神療法学会，日本臨床心理士養成大学院協議会，東京臨床心理士会

- 3 会期：** 2011年7月16日（土）～7月20日（水）／5日間

7月16日（土）プレ・コンGRESS・ワークショップ

7月17日（日）～7月20日（水） 本大会

- 4 会場：** 国立オリンピック記念青少年総合センター（〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1）

- 5 大会テーマ：** メイン・テーマ； 心理アセスメントの未来

サブ・テーマ； ①多角的心理アセスメント ②教育と訓練 ③最新のトピックス（発達障害，児童及び思春期，トラウマと虐待，精神力動的アプローチ，司法におけるアセスメント，神経心理学的アセスメント）

6 公用語： 英語，フランス語，スペイン語，日本語

メイン会場（大ホール）におけるすべてのセッションは、これらの言語に同時通訳されます。その他の発表会場については、演題の受理状況により会場の言語を検討する予定ですが、原則として通訳はありません。

7 大会の主なプログラム（予定）：

7月16日（土） プレ・コンGRES・ワークショップ

講師とテーマ	言語	備考
Stephen E. Finn 治療的アセスメント	逐語通訳(日英)	一日
Barry Ritzler & Anthony Sciara 包括システムの施行法と難しいコーディング	逐語通訳(日英)	一日
Judith G. Armstrong 虐待，トラウマとロールシャッハ	逐語通訳(日英)	一日
Vera Campo 子どものロールシャッハ	スペイン語	半日
Michèle Emmanuelli & Catherine Azoulay 思春期青年期のロールシャッハ：精神分析的アプローチ	フランス語	半日
高橋依子 ロールシャッハ・テストの事例解釈に活かす描画テスト	日本語	一日
馬場禮子 ロールシャッハ法：量的分析と質的分析—力動的観点からの統合	日本語	一日
外川江美 & 野田昌道 TATとロールシャッハ	日本語	一日
市川京子 初めて学ぶロールシャッハ	日本語	一日

本大会

7月17日（日）	開会式， 基調講演「日本のロールシャッハ(小川俊樹)」， 基調講演「禅と教育(西田正法・永平寺)」， 大会企画シンポジウム「これからの心理アセスメント教育とトレーニング(中村紀子他)」， 特別講演「ロールシャッハの理論(Anne Andronikof)」， 研究発表， レセプション
7月18日（祝）	大会企画シンポジウム「投映法から見た現代の子どもたち(村瀬嘉代子， 三沢直子他)」， 事例研究「多角的な心理アセスメント」， 研究発表， 包括システムによる日本ロールシャッハ学会第17回年次総会
7月19日（火）	特別講演「アセスメントにおける精神力動的アプローチの未来(Catherine Chabert)」， 大会企画シンポジウム「精神力動的立場からのロールシャッハテスト解釈(Bruce L. Smith, 馬場禮子他)」， 大会企画シンポジウム「アジアの心理アセスメント」， 研究発表， 日本ロールシャッハ学会第15回年次総会， 夕食会
7月20日（水）	大会企画シンポジウム「発達障害の心理アセスメント」， 大会企画シンポジウム「若手が語るこれからのロールシャッハ」， 研究発表， 閉会式

日本ロールシャッハ学会 第15回年次総会：

日時；7月19日（火） 午後零時から

場所；国立オリンピック記念青少年総合センター小ホール

8 参加資格：

ISR会員，主催団体，共催団体，協賛団体の会員以外の方（非会員）については，原則として臨床心理学や精神医学などの専門職および臨床心理学を専攻する大学院生等守秘義務を負っている方に限ります。

9 参加費：

注：通貨は円

	会員（国内）	会員（国外）	非会員	大学院生 （会員）	大学院生 （非会員）
本大会（早期登録）	36,000	46,000	50,000	20,000	25,000
本大会（通常登録）	50,000	50,000	55,000	20,000	25,000
本大会（一日参加）	18,000		18,000	18,000	18,000
プレ・コンgres・ワークショップ（一日）	12,000	12,000	15,000	10,000	12,000
プレ・コンgres・ワークショップ（半日）	6,000	6,000	8,000	5,000	6,000
夕食会	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000

注1 日本ロールシャッハ学会会員は「会員」です。

注2 いったん入金された参加費は返金いたしませんので、あらかじめご了承ください。

注3 本大会参加費（一日参加の場合を除く）には、抄録集、コンgresバック、本大会初日のレセプションの経費を含みます。

10 参加登録：原則として予約制です。大会ホームページから申し込んでください。

参加登録開始；2010年8月1日

早期登録期間；2010年8月1日～2011年4月30日

通常登録期間；2011年5月1日～2011年6月30日

11 演題投稿：

研究発表形式；口頭発表（個人）：20分（研究発表15分＋質疑応答5分）

口頭発表（シンポジウム）：120分 シンポジストは3～5名以内

ポスター発表：規格 横90cm×縦180cm以内（7月17日掲示～7月20日撤去、発表者は指定された時間に在席していただきます。）

演題投稿開始；2010年8月1日

演題投稿締切；2011年1月31日

演題投稿は、大会ホームページにおいて受け付けます。

なお、演題については、採択に関してプログラム委員会による審査を行います。

審査結果によっては、研究発表形式の変更を依頼する場合がありますので、ご承知おき願います。

審査結果については、プログラム委員会から、2011年3月31日までに通知します。

12 演題投稿資格：

口頭発表（個人）及びポスター発表の筆頭発表者並びに口頭発表（シンポジウム）のシンポジストについては、演題投稿の時点でISR会員、主催団体、共催団体の会員であることを要します。ただし、それらの会員であっても、本大会一日参加の方は、筆頭発表者及びシンポジストとなることを認めません。なお、一人の会員は、本大会中に複数回の発表を行うことができます。

13 演題投稿の留意事項：

① 演題投稿に当たっては、公用語 250words 以内（日本語の場合は、全角 800 字以内）の要約、表題、トピックの指定、希望発表形式、3キーワード等を入力してください。

なお、シンポジウムについては、代表者が申し込んでください。

② 演題を採択された場合は、2011年5月31日までに、公用語による「抄録」（英語以外の公用語を用いる場合は、必ず英語による「抄録」も付けてください）を、大会事務局に送付してください。「抄録」は、公用語 800words 以内（日本語の場合は、全角 2000 字以内）で作成してください。

- ③ 大ホールでの発表を指定された場合は、同時通訳をより正確に行うため、2011年6月20日までに、発表原稿を大会事務局に送付してください。期限までに原稿提出がない場合は、その演題を通訳のない他の会場に移動させることがあります。

14 臨床心理士の研修ポイント

日本大会においては、包括システムによる日本ロールシャッハ学会及び日本ロールシャッハ学会の年次大会が同時開催されますので、日本大会への参加をもって、いずれかの学会の年次大会への参加とみなされ、(財)日本臨床心理士資格認定協会の規定による臨床心理士の研修ポイントになります。本大会一日参加の方についても、同様です。

15 大会までの主なスケジュール

2010年8月1日	参加登録・演題投稿開始
2011年1月31日	すべての演題投稿締切
2011年3月31日	演題審査通知期限
2011年4月30日	早期登録締切（これ以降は、通常登録）
2011年5月31日	公用語による抄録締切（英語以外の場合は、英語による抄録も必須）
2011年6月20日	大ホールでの発表原稿締切
2011年6月30日	すべての参加登録締切
2011年7月16日	プレ・コンGRESS・ワークショップ
2011年7月17日～20日	本大会

16 宿泊案内

会場内に安価の宿泊施設（一泊4000円）があり、大会ホームページから同施設の宿泊申込を受け付けています。2011年3月31日まで申込受け付けますが、部屋数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

17 募金

募金先：みずほ銀行 本郷支店「ISR第20回日本大会」（銀行コード：0001 店番号：075）
普通預金口座 口座番号：2733465

企業・団体は、1口1万円で3口以上、個人は、1口5千円で2口以上のご寄付をいただいた場合、大会プログラムにお名前を掲載いたします。（大会プログラムへのお名前の掲載をご希望されない場合は、その旨を大会事務局にご一報願います。）

大会ホームページ

大会の最新情報については、大会ホームページに随時掲載します。

大会ホームページ：<http://www2.convention.co.jp/isr2011/>

大会の問い合わせ先

大会に関するお問い合わせ等は、次のEメールアドレスをお願いします。

Eメール：isr2011@convention.co.jp